

2025 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026 年 2 月 27 日

上 場 会 社 名 琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 7364 U R L https://ryukyuasteeda.jp/
代 表 者 （役職名） 代表取締役会長 兼 社長 （氏名） 早川 周作
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 CFO （氏名） 田野口 浩太 (TEL)098 (851)8701
発 行 者 情 報 提 出 予 定 日 2026 年 3 月 31 日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決 算 説 明 会 開 催 の 有 無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025 年 12 月期の業績 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025 年 12 月期	489	-	△75	-	△78	-	△62	-
2024 年 12 月期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1 株当たり 当期純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025 年 12 月期	△36.60	-
2024 年 12 月期	-	-

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については当期純損失であるため記載しておりません。
2. 当社は、2024 年 12 月期においては財務諸表を作成していないため、2024 年 12 月期の数値及び対前期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025 年 12 月期	99	△224	△226.7	△127.80
2024 年 12 月期	-	-	-	-

(参考) 自己資本 2025 年 12 月期 △225 百万円 2024 年 12 月期 -百万円

(注) 1. 当社は、2024 年 12 月期においては財務諸表を作成していないため、2024 年 12 月期の数値を記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中 間	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024 年 12 月期	0.00	0.00	0.00
2025 年 12 月期	0.00	0.00	0.00
2026 年 12 月期 (予想)	0.00	0.00	0.00

3. 2026 年 12 月期の業績予想 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	%
通 期	489	0.0%	57	-	53	-	52	-	29.52	-

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|---|--------------------|-----|
| 1 | 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 2 | ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 3 | 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 4 | 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

1 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025 年 12 月期	1,761,700 株	2024 年 12 月期	1,619,700 株
2 期末自己株式数	2025 年 12 月期	-	2024 年 12 月期	-
3 期中平均株式数	2025 年 12 月期	1,717,174 株	2024 年 12 月期	1,619,700 株

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当事業年度決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当事業年度の末日現在において判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が徐々に改善しており、緩やかな回復基調にあります。一方で継続的な物価上昇による消費マインド回復の遅れや、不安定化する国際情勢等、先行き不透明な状況にあります。

当社はこのような環境下においても、「夢への道を拓き、明日を照らす光となる。」というミッションのもと、「沖縄から世界へ」を合言葉に各事業を展開してまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(スポーツ関連事業)

スポーツ関連事業におきましては、Tリーグ 2024-2025 シーズンにおいて、琉球アスティーダは惜しくもファイナルにて敗戦を期した結果優勝を果たすことが出来ず、シーズン 2 位となりました。7 月に開幕しました Tリーグ 2025-2026 シーズンにおいては、琉球アスティーダは 2026 年 1 月末時点でし烈なプレーオフ進出争いをしております。業績に関しては新規スポンサーの獲得が鈍化しており、売上高は 74,216 千円、セグメント損失は 162,443 千円となりました。

(飲食事業)

飲食事業におきましては、不採算が継続したことにより当事業年度において直営店 5 店舗全店を閉鎖いたしました。その結果、売上高は 85,332 千円、セグメント損失は 24,090 千円となりました。

(アスティーダサロン事業)

会員制経営者コミュニティサロンを運営しているアスティーダサロン事業におきましては、会員数が堅調に推移したことに加え、2025 年 6 月に大規模カンファレンスであるアスティーダエグゼクティブサロン 2025 in 北海道、12 月にエグゼクティブサロン 2025 in 沖縄での収益を計上した結果、売上高は 329,519 千円、セグメント利益は 222,081 千円となりました。

以上の結果、当事業年度における売上高は 489,069 千円、営業損失は 75,352 千円、経常損失は 78,197 千円、当期純損失は 62,844 千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産

当事業年度末における流動資産は 95,959 千円となりました。

固定資産は 3,365 千円となりました。

この結果、総資産は、99,325 千円となりました。

(2) 負債

当事業年度末における流動負債は 213,821 千円となりました。

当事業年度末における固定負債は 110,257 千円となりました。

この結果、負債合計は、324,078 千円となりました。

(3) 純資産

当事業年度末における純資産は 224,753 千円の債務超過となりました。この結果、自己資本比率は $\Delta 226.7\%$ となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、44,114 千円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は 132,217 千円となりました。これは主に税引前当期純損失 62,201 千円を計上したほか、契約負債の減少額 58,899 千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は 25,798 千円でした。これは有価証券の売却による収入 10,000 千円、関係会社株式の売却による収入が 15,177 千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は 103,663 千円となりました。これは、短期借入金の返済による支出 5,000 千円、長期借入金の返済による支出 29,352 千円があった一方で、新株の発行による収入が 138,015 千円あったことによるものです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国際情勢不安や米国をはじめとする物価変動や各国の中央銀行による政策金利の引き上げの懸念等によりわが国の経済の先行きについては依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、スポーツ関連事業におきましては、2025 年 7 月に開幕した T リーグ 2025-2026 シーズンにおいて、琉球アスティーダは王座奪還を果たすべくチームは活動しております。また、経営者の悩みを解決し、参加メンバーの事業成長を支援する会員制経営者コミュニティ、アスティーダサロン事業に、より経営資源を集中させることにより、アスティーダサロンの会員様へのサービスをさらに拡充するとともに、2026 年度に開催するアスティーダエグゼクティブサロンにおいても、前年度以上の集客を見込んでおります。

また、当社は成長事業であるアスティーダサロン事業に一層の経営資源を投入するため、2025 年 6 月に連結子会社であった九州アスティーダ株式会社（現九州カーリーナ株式会社）の株式を譲渡するとともに、飲食事業におきましては、飲食事業からの撤退し、事業の選択と集中を図っております。

以上のような取り組みを推進するとともに、わが国の経済活動が正常化することで、業績は改善に向かうものと考えております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当事業年度において営業損失 75,352 千円、経常損失 78,197 千円、当期純損失 62,844 千円を計上し、営業キャッシュ・フローは 132,217 千円の支出となりました。その結果、当事業年度末において 224,753 千円の債務超過となりました。これにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

今後の施策等につきましては、「2. 財務諸表及び主な注記 (5) 財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記)」に記載しております。

2. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

		当事業年度 2025 年 12 月 31 日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		44,114
売掛金及び契約資産		38,182
未収入金		1,135
前払費用		14,728
その他		350
貸倒引当金		△2,551
流動資産合計		95,959
固定資産		
有形固定資産		0
投資その他の資産		
投資有価証券		23
長期前払費用		1,201
敷金		2,130
長期未収入金		4,797
貸倒引当金		△4,797
その他		10
投資その他の資産合計		3,365
固定資産合計		3,365
資産合計		99,325

(単位：千円)

当事業年度 2025 年 12 月 31 日	
負債の部	
流動負債	
買掛金	46,199
短期借入金	25,000
1 年内返済予定の長期借入金	29,352
未払金	21,238
未払法人税等	2,342
未払消費税等	675
契約負債	80,241
預り金	5,876
その他	2,896
流動負債合計	213,821
固定負債	
長期借入金	110,257
固定負債合計	110,257
負債合計	324,078
純資産の部	
株主資本	
資本金	246,490
資本剰余金	208,990
利益剰余金	△680,633
株主資本合計	△225,153
新株予約権	400
純資産合計	△224,753
負債純資産合計	99,325

(2) 損益計算書

	(単位：千円)
	当事業年度
	自 2025 年 1 月 1 日
	至 2025 年 12 月 31 日
売上高	489,069
売上原価	249,858
売上総利益	239,210
販売費及び一般管理費	314,562
営業損失(△)	△75,352
営業外収益	
受取利息	97
利子補給金	52
その他	361
営業外収益合計	511
営業外費用	
支払利息	3,201
その他	155
営業外費用合計	3,356
経常損失(△)	△78,197
特別利益	
固定資産売却益	818
関係会社株式売却益	15,177
特別利益合計	15,995
税引前当期純損失(△)	△62,201
法人税、住民税及び事業税	642
法人税等合計	642
当期純損失(△)	△62,844

(3) 株主資本等変動計算書

自 2025 年 1 月 1 日
至 2025 年 12 月 31 日

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰 余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金合 計	
当期首残高	175,490	137,990	137,990	△617,788	△617,788	△304,308
当期変動額						
新株の発行	71,000	71,000	71,000			142,000
当期純損失				△62,844	△62,844	△62,844
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）						
当期変動額合計	71,000	71,000	71,000	△62,844	△62,844	79,155
当期末残高	246,490	208,990	208,990	△680,633	△680,633	△225,153

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	400	△303,908
当期変動額		
新株の発行		142,000
当期純損失		△62,844
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）		
当期変動額合計	—	79,155
当 期 末 残 高	400	△224,753

(注) 表示単位未満の端数は切り捨て表示しております。

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当 事 業 年 度	
	自 2025 年 1 月 1 日	至 2025 年 12 月 31 日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)		△62,201
減価償却費		520
長期前払費用償却額		930
固定資産売却益		△818
貸倒引当金の増減額(△は減少)		△6,430
受取利息		△97
支払利息		3,201
関係会社株式売却益		△15,177
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)		7,868
棚卸資産の増減額(△は増加)		1,872
前払費用の増減額(△は増加)		8,696
仕入債務の増減額(△は減少)		9,064
未払金の増減額(△は減少)		△13,345
契約負債の増減額(△は減少)		△58,899
未払消費税等の増減額(△は減少)		△8,816
その他		4,842
小計		△128,791
利息及び配当金の受取額		97
利息の支払額		△2,753
法人税等の支払額		△770
営業活動によるキャッシュ・フロー		△132,217
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		△520
有形固定資産の売却による収入		818
有価証券の売却による収入		10,000
関係会社株式の売却による収入		15,177
敷金の差入による支出		△300
敷金・保証金の回収による収入		622
投資活動によるキャッシュ・フロー		25,798
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出		△5,000
長期借入金の返済による支出		△29,352
株式の発行による収入		138,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		103,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△2,756
現金及び現金同等物の期首残高		46,870
現金及び現金同等物の期末残高		44,114

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、当事業年度において営業損失 75,352 千円、経常損失 78,197 千円、当期純損失 62,844 千円を計上し、営業キャッシュ・フローは 132,217 千円の支出となりました。その結果、当事業年度末において 224,753 千円の債務超過となりました。これにより、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、子会社である九州アスティーダ株式会社（現九州カーリーナ株式会社）株式全株を売却し、さらに飲食事業においては全直営店舗からの撤退をいたしました。次年度においては、成長事業であるアスティーダサロンに経営資源を集約し、人員の重点配置及び営業体制の強化を行うことにより、当社が年 2 回実施するアスティーダエグゼクティブサロンをはじめとするコンテンツの質的向上及びプログラムの拡充を図り、提供価値の多層化を通じて事業の収益性の改善及び安定化に取り組んでまいります。

また、今後も必要に応じて資金調達を行うことにより、運転資金の安定的確保を図ってまいります。

以上の対応策を実施することにより、事業面及び財務面での安定を図り、当該状況の解消及び改善に努めてまいります。しかしながら、上記の対応策等は実施途上であること、特にアスティーダサロンの運営においては将来の売上見込についての予測を含んでおり、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当 事 業 年 度

自 2025 年 1 月 1 日

至 2025 年 12 月 31 日

(単位：千円)

	報 告 セ グ メ ン ト				調 整 額 (注) 1	損益計算 書計上額 (注) 2
	スポーツ 関連事業	飲食事業	アスティ ーダサロ ン事業	計		
売 上 高						
一時点で移転される財又はサービス	19,711	84,266	103,057	207,035	-	207,035
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	54,505	1,066	226,461	282,033	-	282,033
顧客との契約から生じる収益	74,216	85,332	329,519	489,069	-	489,069
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	74,216	85,332	329,519	489,069	-	489,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	74,216	85,332	329,519	489,069	-	489,069
セグメント利益又は損失(△)	△162,443	△24,090	222,081	35,548	△110,900	△75,352

- (注) 1. セグメント損失の調整額△110,900千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント損失は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 当社は、2024 年 12 月期においてはセグメント情報等を作成していないため、2024 年 12 月期の数値は記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。